

当ファンドの仕組みは、次の通りです。

商 品 分 類		追加型投信／海外／株式／インデックス型
信 託 期 間		無期限（設定日：2021年7月30日）
運 用 方 針		中国A株インデックスマザーファンド受益証券への投資を通じて、実質的に中国A株への投資を行い、FTSE 中国A 50インデックス（配当込み、円換算ベース）の動きに連動する投資成果をめざして運用を行います。
主要投資対象	当ファンド（ベビーファンド）	中国A株インデックスマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。
	マザーファンド	ETF（上場投資信託証券）を主要投資対象とします。
組 入 制 限	当ファンド（ベビーファンド）	投資信託証券（マザーファンド受益証券および上場投資信託証券を除きます。）への実質投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。外貨建資産への実質投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。
	マザーファンド	投資信託証券（上場投資信託証券を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の5%以下とします。外貨建資産への投資割合には制限を設けません。株式への直接投資は行いません。
分 配 方 針		年1回（毎年7月12日。ただし、休業日の場合は翌営業日）決算を行い、原則として以下の方針に基づいて収益の分配を行います。分配対象額の範囲は、繰越分も含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額とします。）等の全額とします。収益分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、委託会社の判断により分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を定めず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

運用報告書（全体版）

第4期

（決算日：2025年7月14日）

SBI・中国A株 インデックス・ファンド （愛称：雪だるま（中国A株））

追加型投信／海外／株式／インデックス型

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、「SBI・中国A株インデックス・ファンド（愛称：雪だるま（中国A株））」は、2025年7月14日に第4期決算を行いました。
ここに期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。

SBIアセットマネジメント株式会社

東京都港区六本木1－6－1

お問い合わせ先

電話番号 03-6229-0097

受付時間：営業日の9：00～17：00

ホームページから、ファンドの商品概要、レポート等をご覧いただけます。
<https://www.sbiam.co.jp/>

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額			ベンチマーク		投資信託 証券組入比率	純資産額
	(分配落)	税 込 分 配 金	期 中 騰 落 率		期 中 騰 落 率		
(設定日)	円	円	%		%	%	百万円
2021年 7 月30日	10,000	—	—	10,000	—	—	97
1期(2022年 7 月12日)	11,501	0	15.0	11,742	17.4	99.8	598
2期(2023年 7 月12日)	9,686	0	△15.8	9,973	△15.1	98.9	736
3期(2024年 7 月12日)	10,726	0	10.7	11,143	11.7	98.6	1,040
4期(2025年 7 月14日)	11,735	0	9.4	12,335	10.7	98.7	1,525

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。
(注3) 基準価額の騰落率は分配金込みです。
(注4) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注5) ベンチマークはFTSE 中国A50インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
(注6) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
(注7) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ベンチマーク		投資信託 証券組入比率
		騰 落 率		騰 落 率	
(期 首)	円	%		%	%
2024年 7 月12日	10,726	—	11,143	—	98.6
7 月末	10,006	△ 6.7	10,456	△ 6.2	98.4
8 月末	9,676	△ 9.8	10,060	△ 9.7	98.8
9 月末	11,131	3.8	11,382	2.1	99.2
10月末	11,605	8.2	12,194	9.4	98.8
11月末	11,071	3.2	11,609	4.2	99.5
12月末	11,982	11.7	12,575	12.8	96.7
2025年 1 月末	11,219	4.6	11,749	5.4	98.2
2 月末	11,199	4.4	11,779	5.7	98.6
3 月末	11,270	5.1	11,836	6.2	99.0
4 月末	10,547	△ 1.7	11,075	△ 0.6	99.0
5 月末	10,971	2.3	11,547	3.6	98.8
6 月末	11,215	4.6	11,821	6.1	99.2
(期 末)					
2025年 7 月14日	11,735	9.4	12,335	10.7	98.7

(注1) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
(注2) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注3) ベンチマークはFTSE 中国A50インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
(注4) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一になるよう指数化しています。
(注5) ベンチマークの騰落率は国内の取引所の営業日に準じて算出しています。

ベンチマーク：FTSE 中国A50インデックス（配当込み、円換算ベース）
FTSE 中国A50インデックスは、FTSE社が開発した指数で、中国株式市場における大手企業のパフォーマンスをカバーすることを目的としており、流動性のある中国A株の時価総額上位50銘柄で構成されています。FTSE 中国A50インデックス（配当込み、円換算ベース）は、FTSE 中国A50インデックスをもとに、委託会社が円換算したものです。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2024年7月13日から2025年7月14日まで）

○基準価額等の推移



（注1）ベンチマークは、FTSE 中国A50インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。詳細はP1をご参照ください。

（注2）ベンチマークは、期首（2024年7月12日）の値が当ファンドの基準価額と同一となるよう指数化しています。

（注3）当ファンドは、設定日以降分配を行っていないため分配金再投資基準価額は記載していません。

○基準価額の主な変動要因

上昇要因

- ・米消費者物価指数（CPI）の伸び鈍化による米国金融政策の緩和への期待
- ・米国景気の軟着陸への期待
- ・中国当局による景気刺激策への期待

下落要因

- ・米連邦準備制度理事会（FRB）のタカ派的姿勢
- ・景気後退懸念の高まり
- ・トランプ政権の関税政策による不確実性の高まり
- ・グローバルなリスクオフ

○投資環境

＜中国株式市場＞

当期の中国株式市場は上昇しました。期初から2024年8月初旬には、空売り規制の厳格化や、「国家隊」による株買いなどで上昇した一方で、米CPI発表後、米大型ハイテク株の資金集中に懸念が強まり、米ナスダック総合が下落し、さらにその後、米景気後退懸念の強まりから、リスク回避の動きで下落しましたが、8月後半にはインフレ鎮静化や底堅い景気指標を受け、下落幅を縮小しました。9月は、再び低調な米経済指標を受けて世界的にリスク回避の動きが強まり、一時下落しましたが、FRBの大幅利下げ観測や中国当局の大規模な景気刺激策への期待から、大きく上昇しました。10月から12月にかけては、堅調な米指標の発表などを受け、ドル高や一段の長期金利上昇となり、加えて中国当局の景気刺激策に対する不透明感や次期大統領に中国に対し厳しい政策を掲げるトランプ氏が選出されたことで下落した後、中国で中央経済工作会议での景気刺激策への期待が強まり、下落幅を縮小した場面もありましたが、米連邦公開市場委員会（FOMC）で今後の金利見通しを前回より引き上げたことより、米長期金利が上昇し、ドル高傾向となったことから、さらに下落しました。2025年1月から2月は、トランプ米大統領が就任初日の関税引き上げを見送ったことから安心感が広がったことや、Deepseekをはじめとしたハイテク株の上昇、中国当局が企業支援を強化するとの観測が広がり上昇に転じました。その後、中国が全人代で財政拡張方針を示したことなどが好感され上昇基調で推移しました。4月には、2日に米政権の相互関税発表を受けて景気悪化懸念が強まり大幅に下落した後、90日間の相互関税上乘せ分の適用猶予が発表され、下落幅を縮小しました。その後、5月12日に米中が互いに課した関税率の想定以上の引き下げ合意をうけ上昇、期末にかけては対EU関税発動延期もあり、中国株式市場はさらに上昇しました。

＜外国為替市場＞

当期、人民元は米ドル円の動きと概ね同様の動きをし、期首に1人民元21.7円近辺で始まり、期末を20.4円近辺で終え、通期では円高人民元安となりました。期初、2024年8月ごろまで日銀の追加利上げ観測とFRBの利下げ観測に円高に推移しました。9月ごろから11月ごろにかけて堅調な米経済指標発表や大統領選でのトランプ大統領の勝利などから円安ドル高傾向となり人民元も対円で強含みました。11月下旬に中国当局の景気刺激策への不透明感やトランプ氏の対中強硬策への懸念が見られ、米ドル円でFRBの利下げ期待が強まったことから一時的に人民元が弱含む局面もありましたが、12月FOMCでは、FRBが利下げを決定したものの、2025年の予想利下げ回数を2回に半減させたことなどから米長期金利が上昇し、再び円安ドル高傾向となり人民元も対円で強含みました。しかし、2025年1月の日銀会合において利上げが決定されたことや今後も利上げが予想され円金利が上昇したこと、海外では米企業景況感や消費者信頼感の下振れから景気減速懸念が高まったことがあり、円高ドル安傾向に転換し、人民元も対円で弱含みました。トランプ米大統領による関税政策が順次発表されると、景気後退懸念が高まり、さらに4月2日に相互関税が発表されると円高ドル安が加速し、人民元安円高となりました。しかし相互関税の延期や、米英との関税合意や中国に対する関税引き下げが発表されると、円安ドル高（人民元強含み）となり、7月に入り米雇用統計が底堅い内容だったことから一段と円安ドル高（人民元強含み）が進み、期末を迎えました。

○当ファンドのポートフォリオ

<当ファンド>

ベンチマークである「FTSE 中国A50インデックス（配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象である中国A株インデックスマザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行いました。

<中国A株インデックスマザーファンド>

ベンチマークである「FTSE 中国A50インデックス（配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ブラックロック・インクが運用を行う「iシェアーズ FTSE 中国A50 ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

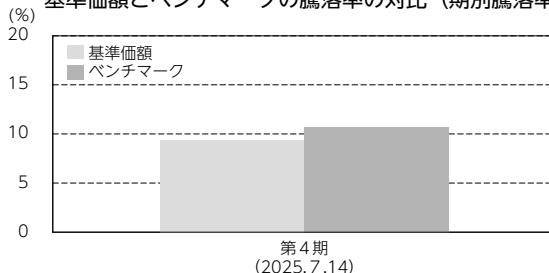
なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は98.6%となっております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

期中における基準価額は、+9.4%となり、ベンチマークである「FTSE 中国A50インデックス（配当込み、円換算ベース）」の騰落率である+10.7%をおおむね1.3%下回りました。

主な要因としては、ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジション等の要因が挙げられます。

基準価額とベンチマークの騰落率の対比（期別騰落率）



(注) ベンチマークはFTSE 中国A50インデックス（配当込み、円換算ベース）です。詳細はP1をご参照ください。

○分配金

当期の収益分配は、運用の効率性と基準価額の水準を勘案し見送ることといたしました。
なお、収益分配にあてなかった利益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第 4 期
	2024年 7 月13日～ 2025年 7 月14日
当期分配金	—
(対基準価額比率)	— %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,196

(注 1) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注 2) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

<当ファンド>

引き続き、ベンチマークである「FTSE 中国 A50インデックス (配当込み、円換算ベース)」に連動する投資成果をめざし、主要投資対象である中国 A 株インデックスマザーファンド受益証券を高位に組入れて運用を行う方針です。また、現金比率を極力抑え連動率を高めていく所存です。

<中国 A 株インデックスマザーファンド>

引き続き、「iシェアーズ FTSE 中国 A50 ETF」を主要投資対象とし、ベンチマークである「FTSE 中国 A50インデックス (配当込み、円換算ベース)」に連動する投資成果をめざして運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 7 月13日～2025年 7 月14日)

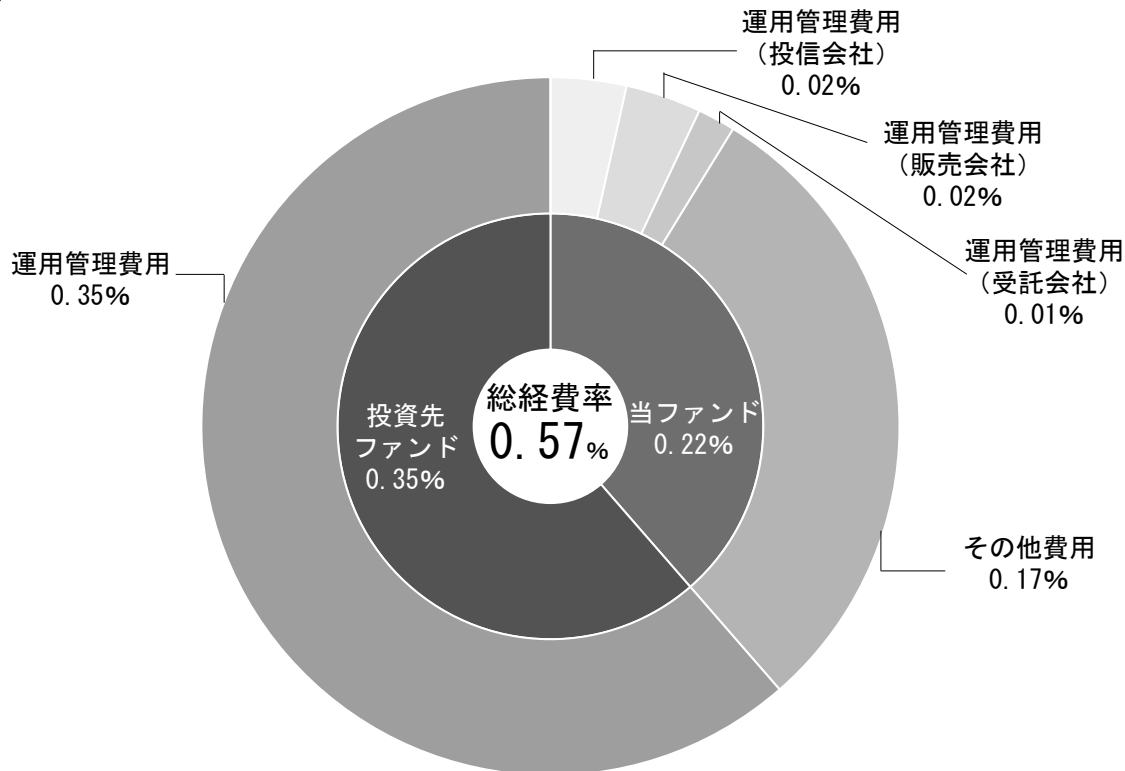
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	7 (3) (3) (2)	0.064 (0.024) (0.024) (0.015)	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	—	—	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に 支払う手数料
(c) 有価証券取引税	—	—	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に 関する税金
(d) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用) (印 刷)	19 (7) (4) (8)	0.172 (0.065) (0.037) (0.070)	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管 及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 開示資料等の作成・印刷費用等
合 計	26	0.236	
期中の平均基準価額は、10,991円です。			

- (注 1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注 2) 消費税は報告日の税率を採用しています。
- (注 3) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。
- (注 4) 売買委託手数料、有価証券取引税及びその他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注 5) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して 100 を乗じたものです。

(参考情報)

○総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率(年率)**は**0.57%**です。



総経費率 (①+②)	0.57%
①当ファンドの費用の比率	0.22%
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.35%

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。なお、四捨五入の関係により、合計が一致しない場合があります。

(注4) 投資先ファンドとは、当ファンドまたはマザーファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く）です。

(注5) ①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

(注6) ①と②の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注7) 投資先ファンドについては、運用会社等より入手した概算値を使用している場合があります。

(注8) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年 7 月13日～2025年 7 月14日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
中国A株インデックスマザーファンド	1,307,010	1,452,940	980,657	1,088,490

(注) 単位未満は切捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2024年 7 月13日～2025年 7 月14日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年 7 月14日現在)

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末	
	口 数	口 数	評 価 額
	千口	千口	千円
中国A株インデックスマザーファンド	965,798	1,292,151	1,526,805

(注) 口数・評価額の単位未満は切捨て。

マザーファンドにおける組入資産の明細につきましては、後述のマザーファンドの「運用報告書」をご参照ください。

○投資信託財産の構成

(2025年 7 月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
中国A株インデックスマザーファンド	1,526,805	99.2
コール・ローン等、その他	12,699	0.8
投資信託財産総額	1,539,504	100.0

(注 1) 金額の単位未満は切捨て。

(注 2) 中国A株インデックスマザーファンドにおいて、当期末における外貨建て純資産 (1,505,424千円) の投資信託財産総額 (1,539,488千円) に対する比率は97.8%です。

(注 3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、7月14日における円換算レートは、1人民元 (オフショア) =20.4993円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年7月14日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	1,539,504,430円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	18,471
中国A株インデックスマザーファンド(評価額)	1,526,805,959
未 収 入 金	12,680,000
(B)負 債	13,564,927
未 払 解 約 金	12,665,980
未 払 信 託 報 酬	435,282
そ の 他 未 払 費 用	463,665
(C)純 資 産 総 額(A－B)	1,525,939,503
元 本	1,300,366,198
次 期 繰 越 損 益 金	225,573,305
(D)受 益 権 総 口 数	1,300,366,198口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 (C／D)	11,735円

<注記事項（運用報告書作成時には監査未了）>
(貸借対照表関係)

期首元本額	970,357,304円
期中追加設定元本額	1,315,796,863円
期中一部解約元本額	985,787,969円

○損益の状況 (2024年7月13日～2025年7月14日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	174,941円
そ の 他 収 益 金	174,941
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	98,848,477
売 買 損 益	167,974,982
売 買 損 益	△ 69,126,505
(C)信 託 報 酬 等	△ 2,157,278
(D)当 期 損 益 金 (A＋B＋C)	96,866,140
(E)前 期 繰 越 損 益 金	24,141,356
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	104,565,809
(配 当 等 相 当 額)	(163,012,190)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 58,446,381)
(G)計 (D＋E＋F)	225,573,305
(H)収 益 分 配 金	0
次 期 繰 越 損 益 金 (G＋H)	225,573,305
追 加 信 託 差 損 益 金	104,565,809
(配 当 等 相 当 額)	(164,559,385)
(売 買 損 益 相 当 額)	(△ 59,993,576)
分 配 準 備 積 立 金	121,007,496

- (注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
- (注2) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
- (注3) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
- (注4) 計算期間末における費用控除後の配当等収益 (24,429,217円)、費用控除後の有価証券等損益額 (72,436,923円)、信託約款に規定する収益調整金 (164,559,385円) および分配準備積立金 (24,141,356円) より分配対象収益は285,566,881円 (10,000口当たり2,196円) ですが、当期に分配した金額はありません。

〇お知らせ

投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。

(変更適用日：2025年4月1日)

<当該約款変更につきまして>

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更され、書面交付またはデジタル交付いずれかを選択できるようになりました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全等、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。

今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供ができるよう整備してまいります。

これまで月次報告書や運用報告書等の開示資料において「配当込み」ベンチマークを使用しておりましたが、目論見書においても、「配当込み指数」であることをより明確に示す目的から、当該ベンチマークの名称に「配当込み」の記載を追加する約款変更を行いました。

(変更適用日：2025年4月12日)

SBI・中国A株インデックス・ファンド（以下「本ファンド」）は、SBIアセットマネジメント株式会社の責任のもとで設定・運用されるものであり、ロンドン証券取引所グループおよびグループ各社（以下LSE Group）によって出資、保証、販売または販売促進されるものではありません。FTSERussellは、LSE Groupに属する子会社の商標です。

FTSE 中国A50 インデックス(以下「本インデックス」)に関する一切の権利は本インデックスを保有するLSE Group 会社に帰属します。“FTSE®”、“FTSE Russell®”は、LSE Group 各社の商標であり、ライセンスに基づき他のLSE Group 会社によって使用されています。本インデックスは FTSE International Limited またはその関連会社、代理人、あるいはパートナーによって計算されます。LSE Group は、(a) 本インデックスの使用、信頼性、または瑕疵、(b) 本ファンドへの投資、操作から生じるいかなる責任にも負いません。LSE Group は本ファンドから得られる成果、および SBI アセットマネジメント株式会社によって設定された本ファンドの商品性に対する本インデックスの適合性のいずれに関しても、請求、予測、保証、または表明を一切行いません。

第 4 期 運用報告書

(決算日：2025年 7 月14日)

中国 A 株 インデックス マザー ファンド

受益者のみなさまへ

中国A株インデックスマザーファンドの第4期（2024年 7 月13日から2025年 7 月14日まで）の運用状況をご報告申し上げます。

当マザーファンドの仕組みは次の通りです。

運 用 方 針	中国A株市場の動きを捉えることをめざして、FTSE 中国A50インデックス（配当込み、円換算ベース）に連動する投資成果を目標として運用を行います。
主 要 運 用 対 象	ETF（上場投資信託）を含む投資信託証券を主要投資対象とします。
組 入 制 限	投資信託証券（上場投資信託を除きます。）への投資割合は、信託財産の純資産総額の 5 %以下とします。 外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 株式への直接投資は行いません。

○設定以来の運用実績

決 算 期	基 準 価 額		ベンチマ ー ク		投 資 信 託 証 入 比 率	純 資 産 額
	期 騰 落 率	中 率	期 騰 落 率	中 率		
(設定日)	円	%		%	%	百万円
2021年7月30日	10,000	—	10,000	—	—	97
1期(2022年7月12日)	11,458	14.6	11,742	17.4	95.4	626
2期(2023年7月12日)	9,727	△15.1	9,973	△15.1	98.9	736
3期(2024年7月12日)	10,784	10.9	11,143	11.7	98.6	1,041
4期(2025年7月14日)	11,816	9.6	12,335	10.7	98.6	1,526

(注1) 設定日の基準価額は、設定時の価額です。
(注2) 設定日の純資産は、設定元本を表示しています。
(注3) ベンチマークは、FTSE 中国A50インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
(注4) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一となるよう指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額		ベンチマ ー ク		投 資 信 託 証 入 比 率
	騰 落 率	中 率	騰 落 率	中 率	
(期 首)	円	%		%	%
2024年7月12日	10,784	—	11,143	—	98.6
7月末	10,061	△ 6.7	10,456	△ 6.2	98.4
8月末	9,732	△ 9.8	10,060	△ 9.7	98.8
9月末	11,197	3.8	11,382	2.1	99.1
10月末	11,676	8.3	12,194	9.4	98.8
11月末	11,139	3.3	11,609	4.2	99.4
12月末	12,056	11.8	12,575	12.8	96.6
2025年1月末	11,293	4.7	11,749	5.4	98.2
2月末	11,272	4.5	11,779	5.7	98.6
3月末	11,345	5.2	11,836	6.2	99.0
4月末	10,619	△ 1.5	11,075	△ 0.6	98.9
5月末	11,046	2.4	11,547	3.6	98.7
6月末	11,293	4.7	11,821	6.1	99.1
(期 末)					
2025年7月14日	11,816	9.6	12,335	10.7	98.6

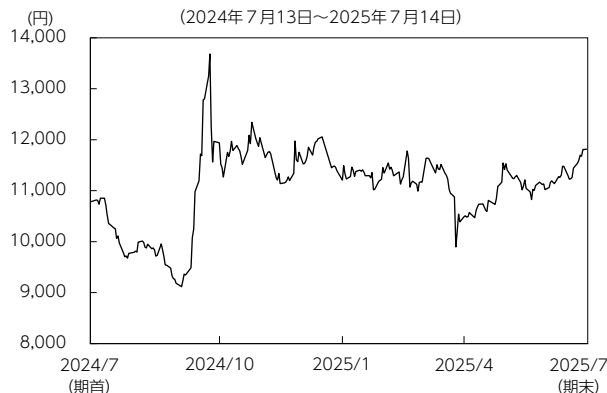
(注1) 騰落率は期首比です。
(注2) ベンチマークは、FTSE 中国A50インデックス（配当込み）を委託会社にて円換算しています。
(注3) ベンチマークは、設定日の値が当ファンドの基準価額と同一となるよう指数化しています。

ベンチマーク：FTSE 中国A50インデックス（配当込み、円換算ベース）
FTSE 中国A50インデックスは、FTSE社が開発した指数で、中国株式市場における大手企業のパフォーマンスをカバーすることを目的としており、流動性のある中国A株の時価総額上位50銘柄で構成されています。FTSE 中国A50インデックス（配当込み、円換算ベース）は、FTSE 中国A50インデックスをもとに、委託会社が円換算したものです。

■当期の運用状況と今後の運用方針（2024年7月13日から2025年7月14日まで）

○基準価額等の推移

【基準価額の推移】



当マザーファンドの基準価額は期首10,784円から始まったあと、期末には11,816円となりました。期を通じて騰落率は+9.6%となりました。

	期首	期中高値	期中安値	期末
日付	2024/7/12	2024/10/8	2024/9/17	2025/7/14
基準価額 (円)	10,784	13,684	9,120	11,816

○投資環境

<中国株式市場>

当期の中国株式市場は上昇しました。期初から2024年8月初旬には、空売り規制の厳格化や、「国家隊」による株買いなどで上昇した一方で、米CPI発表後、米大型ハイテク株の資金集中に懸念が強まり、米ナスダック総合が下落し、さらにその後、米景気後退懸念の強まりから、リスク回避の動きで下落しましたが、8月後半にはインフレ鎮静化や底堅い景気指標を受け、下落幅を縮小しました。9月は、再び低調な米経済指標を受けて世界的にリスク回避の動きが強まり、一時下落しましたが、FRBの大幅利下げ観測や中国当局の大規模な景気刺激策への期待から、大きく上昇しました。10月から12月にかけては、堅調な米指標の発表などを受け、ドル高や一段の長期金利上昇となり、加えて中国当局の景気刺激策に対する不透明感や次期大統領に中国に対し厳しい政策を掲げるトランプ氏が選出されたことで下落した後、中国で中央経済工作会议での景気刺激策への期待が強まり、下落幅を縮小した場面もありましたが、米連邦公開市場委員会（FOMC）で今後の金利見通しを前回より引き上げたことより、米長期金利が上昇し、ドル高傾向となったことから、さらに下落しました。2025年1月から2月は、トランプ米大統領が就任初日の関税引き上げを見送ったことから安心感が広がったことや、Deepseekをはじめとしたハイテク株の上昇、中国当局が企業支援を強化するとの観測が広がり上昇に転じました。その後、中国が全人代で財政拡張方針を示したことなどが好感され上昇基調で推移しました。4月には、2日に米政権の相互関税発表を受けて景気悪化懸念が強まり大幅に下落した後、90日間の相互関税上乘せ分の適用猶予が発表され、下落幅を縮小しました。その後、5月12日に米中が互いに課した関税率の想定以上の引き下げ合意をうけ上昇、期末にかけては対EU関税発動延期もあり、中国株式市場はさらに上昇しました。

＜外国為替市場＞

当期、人民元円は米ドル円の動きと概ね同様の動きをし、期首に1人民元21.7円近辺で始まり、期末を20.4円近辺で終え、通期では円高人民元安となりました。期初、2024年8月ごろまで日銀の追加利上げ観測とFRBの利下げ観測に円高に推移しました。9月ごろから11月ごろにかけて堅調な米経済指標発表や大統領選でのトランプ大統領の勝利などから円安ドル高傾向となり人民元も対円で強含みました。11月下旬に中国当局の景気刺激策への不透明感やトランプ氏の対中強硬策への懸念が見られ、米ドル円でFRBの利下げ期待が強まったことから一時的に人民元が弱含む局面もありましたが、12月FOMCでは、FRBが利下げを決定したものの、2025年の予想利下げ回数を2回に半減させたことなどから米長期金利が上昇し、再び円安ドル高傾向となり人民元も対円で強含みました。しかし、2025年1月の日銀会合において利上げが決定されたことや今後も利上げが予想され円金利が上昇したこと、海外では米企業景況感や消費者信頼感の下振れから景気減速懸念が高まったことがあり、円高ドル安傾向に転換し、人民元も対円で弱含みました。トランプ米大統領による関税政策が順次発表されると、景気後退懸念が高まり、さらに4月2日に相互関税が発表されると円高ドル安が加速し、人民元安円高となりました。しかし相互関税の延期や、米英との関税合意や中国に対する関税引き下げが発表されると、円安ドル高（人民元強含み）となり、7月に入り米雇用統計が底堅い内容だったことから一段と円安ドル高（人民元強含み）が進み、期末を迎えました。

○当ファンドのポートフォリオ

ベンチマークである「FTSE 中国A50インデックス（配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行ってまいりました。

また、ファンドの運用にあたっては、ブラックロック・インクが運用を行う「iシェアーズ FTSE 中国A50 ETF」を主要投資対象として運用を行いました。

なお、当期の投資信託証券の組入比率に関しては、95%以上の組入比率を維持しました。期末の組入比率は98.6%となっております。

○当ファンドのベンチマークとの差異

期中における基準価額は+9.6%となり、ベンチマークである「FTSE 中国A50インデックス（配当込み、円換算ベース）」の騰落率である+10.7%をおおむね1.1%下回りました。

主な要因としては、ファンドと組入ETFにおける信託報酬、運用コストおよびファンドのキャッシュポジション等の要因が挙げられます。

○今後の運用方針

引き続き、「iシェアーズ FTSE 中国A50 ETF」を主要投資対象とし、ベンチマークである「FTSE 中国A50インデックス（配当込み、円換算ベース）」に連動する投資成果をめざして運用を行います。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年 7 月13日～2025年 7 月14日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 売 買 委 託 手 数 料	円 —	% —	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 ※売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有 価 証 券 取 引 税	—	—	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 ※有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	7 (7)	0.065 (0.065)	(c) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合 計	7	0.065	
期中の平均基準価額は、11,060円です。			

(注 1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
(注 2) 項目ごとに円未満は四捨五入しています。
(注 3) 各比率は 1 万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

○売買及び取引の状況

(2024年 7 月13日～2025年 7 月14日)

投資信託証券					
銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
外国	中国オフショア	口	千人民元 (オフショア)	口	千人民元 (オフショア)
	ISHARES FTSE CHINA A50 E-CNY	— (5, 459, 942)	— (65, 416)	—	—
	XXXISHARES FTSE CHINA A50 E-CNY	2, 552, 066	31, 974	1, 117, 764 (5, 459, 942)	13, 510 (65, 416)
	小 計	2, 552, 066 (5, 459, 942)	31, 974 (65, 416)	1, 117, 764 (5, 459, 942)	13, 510 (65, 416)

(注 1) 金額は受け渡し代金。
(注 2) 単位未満は切捨て。
(注 3) ()内は分割・償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2024年 7 月13日～2025年 7 月14日)

該当事項はありません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2025年 7 月14日現在)

外国投資信託証券						
銘 柄		期首(前期末)	当 期 末			
		口 数	口 数	評 価 額		比 率
				外貨建金額	邦貨換算金額	
(中国オフショア)		口	口	千円	千円	%
ISHARES FTSE CHINA A50 E-CNY		—	5, 459, 942	73, 436	1, 505, 391	98. 6
XXXISHARES FTSE CHINA A50 E-CNY		4, 025, 640	—	—	—	—
合 計	口 数 ・ 金 額	4, 025, 640	5, 459, 942	73, 436	1, 505, 391	98. 6
	銘柄数<比率>	1	1	—	<98. 6%>	

(注 1) 円換算金額は期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。
(注 2) 比率欄は、純資産総額に対する評価額の比率です。
(注 3) 評価額の単位未満は切捨て。

○投資信託財産の構成

(2025年 7 月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
投 資 信 託 受 益 証 券	千円 1, 505, 391	% 97. 8
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	34, 097	2. 2
投 資 信 託 財 産 総 額	1, 539, 488	100. 0

(注 1) 金額の単位未満は切捨て。
(注 2) 当期末における外貨建て純資産 (1, 505, 424千円) の投資信託財産総額 (1, 539, 488千円) に対する比率は97. 8%です。
(注 3) 外貨建て資産は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により円換算したものです。なお、7 月14日における円換算レートは、1 人民元 (オフショア) =20. 4993円です。

○特定資産の価格等の調査

該当事項はありません。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年7月14日現在)

項 目	当 期 末
(A)資 産	1,539,488,681円
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	34,097,253
投資信託受益証券(評価額)	1,505,391,102
未 収 利 息	326
(B)負 債	12,680,000
未 払 解 約 金	12,680,000
(C)純 資 産 総 額(A－B)	1,526,808,681
元 本	1,292,151,286
次 期 繰 越 損 益 金	234,657,395
(D)受 益 権 総 口 数	1,292,151,286口
1万口当たり基準価額(C／D)	11,816円

<注記事項>

(貸借対照表関係)

期首元本額	965,798,715円
期中追加設定元本額	1,307,010,273円
期中一部解約元本額	980,657,702円
期末における元本の内訳	
S B I ・ 中国A株インデックス・ファンド	1,292,151,286円

○損益の状況 (2024年7月13日～2025年7月14日)

項 目	当 期
(A)配 当 等 収 益	23,436,147円
受 取 配 当 金	23,355,053
受 取 利 息	81,167
支 払 利 息	△ 73
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	98,256,382
売 買 益	173,851,801
売 買 損	△ 75,595,419
(C)そ の 他 費 用	△ 814,449
(D)当 期 損 益 金(A＋B＋C)	120,878,080
(E)前 期 繰 越 損 益 金	75,681,886
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	145,929,727
(G)解 約 差 損 益 金	△107,832,298
(H) 計 (D＋E＋F＋G)	234,657,395
次 期 繰 越 損 益 金(H)	234,657,395

(注1) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注2) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注3) 損益の状況の中で(G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

＜ご参考＞投資対象ファンドの概要

投資対象ファンド	投資対象	連動する指数	経費率	委託会社
iシェアーズ FTSE 中国A50 ETF	中国株式	FTSE 中国A50インデックス	0.35%	BlackRock, Inc.

組入上位10銘柄	比率
KWEICHOW MOUTAI LTD A	10.4%
CONTEMPORARY AMPEREX TECHNOLOGY LTD	6.5%
CHINA MERCHANTS BANK LTD A	5.6%
CHINA YANGTZE POWER LTD A	4.3%
BYD LTD A	3.5%
PING AN INSURANCE (GROUP) OF CHINA	3.5%
INDUSTRIAL AND COMMERCIAL BANK OF CHINA LTD	3.4%
AGRICULTURAL BANK OF CHINA LTD A	3.0%
INDUSTRIAL BANK LTD A	2.8%
WULIANGYE YIBIN LTD A	2.7%

組入上位業種	比率
金融	37.6%
生活必需品	16.8%
資本財・サービス	13.9%
情報技術	7.7%
一般消費財・サービス	5.5%
公益事業	5.4%
エネルギー	5.1%
ヘルスケア	3.5%
素材	3.4%
通信	1.0%

出所：BlackRock, Inc.の資料を基にSBIアセットマネジメントが作成
(注) 2025年6月30日時点の比率です。

上記組入投資信託証券は第4期期末時点で取得可能なデータを記載しており、将来変更される場合があります。